

麻 酔 科

概 要

部 長：美 馬 裕 之

ス タ ッ プ：12 名

専 攻 医：12 名

ICU フェロー：5 名

年間麻酔管理症例数：6,683 例

内 訳：救急手術 1,304 例

全身麻酔 6,357 例（硬麻または伝麻併用 808 例）

脊髄くも膜下麻酔 297 例（硬膜外麻酔併用 240 例）

年間 ICU 入室患者数：737 例

特 徴

当院外科系にはあらゆる科がそろっており、さまざまな手術の麻酔管理が経験できる。救命救急センターであることから緊急手術も多く、麻酔科医としての臨床能力をつけるには最適の病院である。ICU 患者管理も麻酔科が担当しており、心臓大血管手術をはじめとする大手術の術後管理、内科的重症患者の治療などを多数経験することができる。

専門医、認定医

日本麻酔科学会認定病院、集中治療専門医研修施設である。

日本麻酔科学会指導医 5 名

日本麻酔科学会専門医 4 名

日本麻酔科学会麻酔科認定医 6 名

日本心臓血管麻酔学会専門医 4 名

JB-BOT 日本周術期経食道心エコー認定医 9 名

米国エコー学会（NBE）PTEeXAM 合格 2 名

集中治療専門医 6 名

救急科専門医 2 名

内科専門医 2 名

日本腎臓学会専門医 1 名

日本透析学会専門医 1 名

一般目標

麻酔科専門医研修プログラムの専門研修基幹施設として、臨床麻酔における幅広い技術と知識を習得し、患者の状態、さまざまな術式、偶発的事態に対応して自分の力で適切に判断し、問題を解決することができるような医師を育成することが目標である。一方、カンファレンス、臨床研究、学会・論文発表などを通して、診療に科学的なアプローチをする能力を養っていく。また、研修プログラムが4年間であることを見据えて専門研修関連施設（神戸市立医療センター西市民病院、西神戸医療センター、兵庫県立こども病院、京都大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、大阪市総合医療センター、公立豊岡病院）でのローテーションも行いより幅の広い専門医を育成する。

行動目標

- 1年目：**
1. 一般的な手術の周術期（術前、術中、術後）管理を単独で担当できる。
 2. 心臓大血管手術を上級医の指導の下に経験し、知識と技術を習得する。
- 2年目：**
1. 挿管困難、大量出血などの緊急事態に指導医の協力を得て対応できる。
 2. 心臓大血管手術の麻酔管理をさらに修練する。
 3. JB-BOT 日本周術期経食道心エコー認定試験に合格する。
 4. 麻酔・集中治療領域での症例報告や論文作成を行う。
 5. 超音波ガイド下神経ブロックを習得する。
- 3年目：**
1. ICUにおいて重症患者管理を習得する。
 2. 大手術および重篤な並存疾患を持つ手術患者の周術期管理を習得する。
 3. 麻酔・集中治療領域での症例報告や論文作成を行う。
- 4年目：**
1. 関連施設と連携し、地域医療、救急集中治療、学術研究の中から希望の分野で重点的に研修可能としている。

週間スケジュール

月	7:45 ～8:15	ICU カンファレンス	8:15 ～8:30	麻酔症例術前検討
火	8:00 ～8:15	麻酔科ミーティング	8:15 ～8:30	麻酔症例術前検討
水	7:45 ～8:15	専攻医による講義	8:15 ～8:30	麻酔症例術前検討
木	7:45 ～8:15	スタッフによる講義	8:15 ～8:30	麻酔症例術前検討
金	7:45 ～8:15	臨床研修医による講義	8:15 ～8:30	麻酔症例術前検討

専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院麻酔科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident

見学等問い合わせ先

美 馬 裕 之 : hmima@kcho.jp